

2022年11月15日

日立チャンネルソリューションズ株式会社

ATM など製品での再利用部品の活用開始

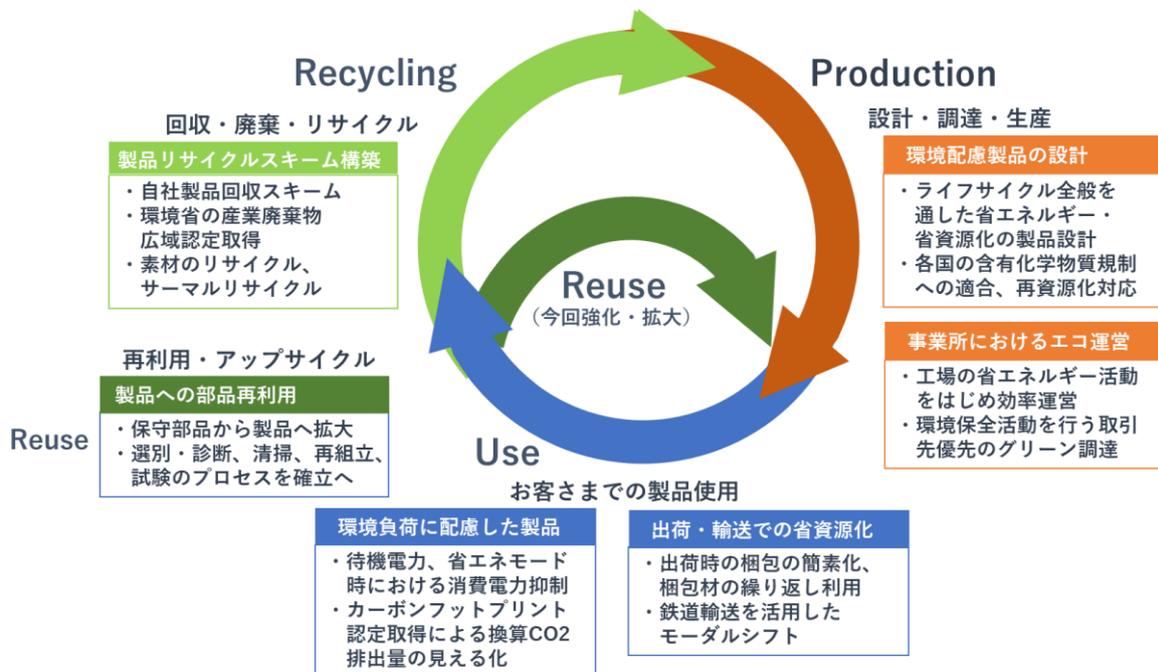
持続可能な社会をめざして資源循環の取り組みを強化

日立チャンネルソリューションズ株式会社(代表取締役 取締役社長：八木 鉄也／以下、日立チャンネルソリューションズ)は、持続可能な社会をめざし、社会に役立つイノベーションを創出するとともに、世界的に深刻化する環境課題に取り組んでいる中、このたび、サーキュラーエコノミー^{*1}の実現に貢献するため、現在保守で適用していた部品・ユニットの再利用を、ATM など製品へ拡大させ、製品ライフサイクルにおける資源循環の活動を強化します。

^{*1} 循環型経済。省資源で持続可能な製品を作り消費活動を行うなど、資源を有効活用し環境破壊のリスクを低減させる経済形態のこと

■背景

日立チャンネルソリューションズは、経営ビジョン「リアルとデジタル、人と社会、を技術と信頼でつなぎ、持続可能な社会の実現に向け、未来をかたちにする会社。」のもと、サステナブルな社会の実現をめざして、これまで「環境負荷低減に配慮した製品・サービスの提供」、「工場における高効率なエネルギー運用」、「製品輸送でのモーダルシフト」などエネルギーの低減を中心にカーボンニュートラルの達成をめざして取り組むなど、環境負荷低減を推進してきました。



日立チャンネルソリューションズの環境負荷低減および資源循環の取り組み

■サーキュラーエコノミー実現に向けた資源の循環および有効利用の取り組み

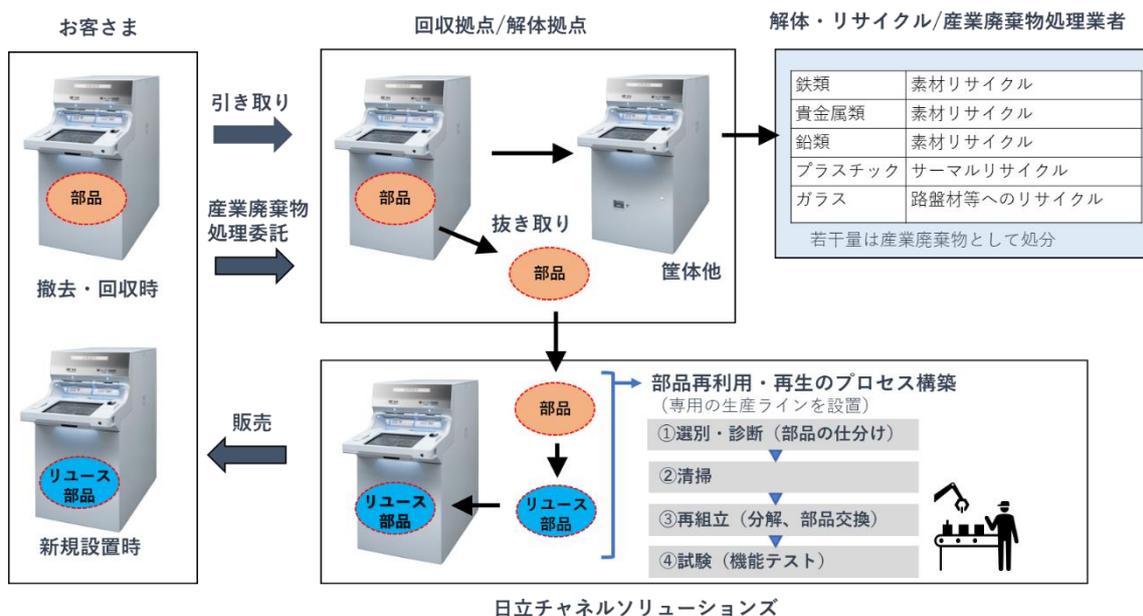
日立チャネルソリューションズは資源の循環および有効活用に関して、製品の設計・製造などモノづくりを通して省資源化、再資源化を進めるとともに、製品回収およびリサイクルにも取り組んできました。今回、さらにリユースを拡大させ、資源循環の活動を強化します。具体的には 2022 年度中を目途に、ATM や両替機などの製品における部品・ユニットの再利用開始をめざします。

1) 製品回収、リサイクル

2010 年に環境省の産業廃棄物広域認定を取得し、メーカーとして自ら製造して使用済みになった製品をお客さまから回収し、適正に処理するスキームを構築・運用しています。金属系素材のリサイクル、プラスチック焼却処理における排熱をエネルギーとして利用するサーマルリサイクルなどを実施しています。

2) リユース (今回製品適用へ拡大)

製品に再利用の部品およびユニットを活用するにあたり、部品選定の独自基準を設け、新たに「再利用部品」専用の生産ラインを設置します。回収した製品から部品を抜き取り、部品管理を行い、専用ラインで選別・診断で部品を仕分け、再組立、試験を実施し部品を再生させるプロセスを確立することで、お客さまが安心して使用できるよう新品の製品と同等の機能・性能を実現した製品に仕上げ、提供します。



日立チャネルソリューションズ製品の部品再利用プロセスと資源循環のサイクル

■今後の展開

日立チャネルソリューションズは、資源の循環および再利用率をさらに高めるため、ATM の自社製品の回収率を 3 年後に 90% 以上に向上させるとともに、再利用部品の対象拡大、再利用部品の適用製品の拡大、徹底した省資源化や再生材の積極的な利活用を推進し、環境にやさしい持続可能なものづくりを通して循環型社会に貢献する製品・サービスを提供していきます。

■日立チャネルソリューションズについて

日立チャネルソリューションズは、ATMをはじめ金融オートメーションのパイオニアとして、100を超える国と地域で製品・サービスを提供し、金融機関等における効率化やサービス向上に取り組んできました。金融、流通、公共・交通分野に加え、メカトロ技術を活用した自動化・ロボットソリューションで、建設、警備業界、ヘルスケアなどの新規分野に事業を展開しています。日立グループとのさらなる連携強化により、LumadaのAIやアナリティクスなどのデジタル技術・ノウハウを活用し、複雑でより高度なお客さま課題への対応、新たな価値創出支援を図っていきます。

詳しくは、日立チャネルソリューションズのウェブサイト(<https://www.hitachi-ch.co.jp/>)をご覧ください。

■製品関連のお問い合わせ先

日立チャネルソリューションズ株式会社

国内事業部企画本部ビジネス企画第2部 [担当：島津]

〒488-8501 愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地

問い合わせサイト：<https://service.hitachi-ch.co.jp/inquiry/001>

■サステナビリティおよび環境関連のお問い合わせ先

日立チャネルソリューションズ株式会社

人事総務本部サステナビリティ推進センタ [担当：古結]

〒488-8501 愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地

問い合わせサイト：<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hitachi-ch/general/jp/form.jsp>

■報道機関お問い合わせ先

日立チャネルソリューションズ株式会社

経営企画室 経営企画部 [担当：二木、白石]

〒141-8576 東京都品川区大崎一丁目6番3号大崎ニューシティ3号館

TEL：03-5719-6009

以上

このニュースリリース記載の情報（製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等）は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
